

特別寄稿

教養・基礎・専門そして法人化

附属図書館長

工学部 知能システム工学科 小倉 久和

本学の共通教育センターは文京キャンパスに閉じた組織ですが、前号で鈴木センター長がふれられたように、センターのプロジェクトが今年度の「特色GP」に採択され、全国的にも注目されています。「共通教育」は現在では全国的に広く使われている言葉ですが、本学では1999年にスタートした大学・教育改革の1つの結果として、文京キャンパスで使われてきました。2003年の医学部との統合、2004年の法人化を経て、当時を振り返ることにより、今後の福井大学の教育とその体制について思い巡らせたいと思います。

現在の共通教育は、1997年に新学長（児嶋学長）の元で始まった大学改革の検討のなかで「一般教育」の枠組みについても検討され、「パンキョウ」の発展的解消と副専攻を含む新しい「共通教育」の枠組みとなったものです。これは、もちろん、大学審議会の答申を受けて1991年に大学設置基準の大綱化が実施されたことを受けています。これは、一般教育と専門教育の区分を廃止し、一般教育内の一般（人文・社会・自然）、外国語、保健体育の科目区分を廃止し、4年間の学士教育を自由に編制することができるようにするのが目的だったと言われています。しかし、こ

れを受けて多くの大学で教養教育組織の解体が行われ、組織や体制を学部分散し「全学出勤方式」と呼ばれる共通教育体制などに移行しました。本学では、当時とはまったく今から見ると大きな変化はありませんでした。目立った変化は、専門科目では演習の2単位化、一般教育では外国語科目などの2単位化と科目の配置変更、一般教育の枠組みにあった工学部向けの数学や物理、化学などの基礎系科目を応用数学などの学部の専門科目と合せて「専門基礎教育科目」として設置、などで、担当組織はほぼ従来のままでした。1999年の改革では、これに比較すると大きな変化がありました。

1995年度末から始まった「学域」改組検討が1997年3月に挫折し、1997年5月から大学改革の検討が再出発しました。その中で、「専門基礎科目」担当の教員をはじめ12人分のポストを教育学部から工学部へ移籍し、数学や物理・化学の基礎系科目を工学部教員が担当するという、福井大学の歴史の中でも極めて大きな変化が生じました。教育学部が教育地域科学部に改組・改称し、工学部が7学科体制を再編して8学科体制になったのもそれを受けた結果です。現在の工学部の専門基礎科目の構成と担当体制の基

ところで、私は「教養」についてかなりかなり偏った意

ではないかと思うのです。「専門」は個人ごとに、時間とともに変遷しているのです。物理学者のファインマンのような多才な多様な能力の持ち主は、多くの「専門」をもっています。知り合いの文学の先生は平安時代の「日本文学」を専門としていましたが、医科大学に赴任されて学生に何を教えるか考えた挙げ句「森鷗外」を選び、鷗外論の専門家になりました。実際、大学で身につけることのできる知識や技能は、非常に限られたものです。私は学生時代は「物理」を「専門」としていました。大学病院に勤めていたときは「医療情報」を専門としていました。しかし、今では、当時得た知識や技能は、私の貴重な「教養」です。「基礎」と「専門」の議論は、工学部では非常に長い歴史がありますが「教養」と「専門」も同様です。私は「基礎」は「教養」とほぼ同義ではないかと思っています。「情報科学」を「専門」として卒業してもスーパーの営業に就職する学生もいるし、「機械工学」を「専門」としてIT企業を起業する学生もいます。そのような「専門」性は多様な「教養」に支えられているのではないか。もちろん、教員養成を目標とする教育地域科学部や医師・看護師養成を主たる目標とする医学部における教養教育と専門教育の関係は、工学部とは大きく異なった問題と課題をもっていることも承知

していますが、多様な進路や振舞いを保証するのは「教養」でしょう。

日本の大学は、ドイツ型の研究中心から出発し、アメリカ型のリベラルアーツ中心の形態に移行してきていると言われます。その中で、教養教育担当組織はさまざまな問題を抱えてきました。本学でも、独自の教養担当組織はなかったのですが、それでも多くの問題を抱えていました。これは大学全体の歪みの問題でもあります。これらの問題が、この10年余りの改革の中でどこまで解決できたのか分かりませんが、法人化され、独自の行動が取れるようになった現在、大きな転換点を迎えています。非常に厳しい財政事情だけが強調されるなか、大学の原点に立ち戻った議論と方針の設定が、将来の展望には欠かせないと思います。ある委員会で質問したとき「基本的な方針は、中期目標・計画に具体化してある」という主旨の回答があったのは非常に驚きましたが、福井大学の理念、教育理念を掲げ、それを具体化して行く作業は、とりわけ法人化され、独立した現状では、急務だと思います。共通教育センターでは、現センター長の尽力でかなり明確なものができつつあります。福井大学の教育が更に発展することを祈念しています。